

平成24年11月27日  
日本生命保険相互会社

**第30回IT賞「IT総合賞」の受賞について**  
～ 新統合計画に係るシステム開発を評価 ～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信、以下「当社」)は、社団法人企業情報化協会(事務局:東京都港区、以下、「IT協会」)が選定する「平成24年度 第30回IT賞」における「IT総合賞」を受賞しました。

当社では、強固な財務・健全性を背景に、新たな総合保険サービスで、「安心できるみらいをお客様と一緒に創っていききたい」との想いを込めて、本年度より、3カ年経営計画「みらい創造プロジェクト」をスタートさせました。

この新たな総合保険サービスのベースとなるのが、保険に関するすべての仕組みをお客様の視点から見直し、システムインフラを抜本的に刷新する「新統合計画」であり、平成18年度から6年間にわたり、1,500億円を投じた取り組みにより、この4月から本格展開しております。

今回の「IT総合賞」の受賞は、こうした取り組みがITを活用した経営革新に顕著な努力を払い、優れた成果を挙げ、かつ、他の模範になると認定されたものであり、当社子会社でグループ各社のIT戦略を担うニッセイ情報テクノロジー株式会社(社長:和田俊介)との共同受賞となります。

IT協会は、今回の主な受賞理由として、以下の点を挙げています。

優れたプロジェクトマネジメントが奏功し、24年4月に計画通りのカットオーバーを迎え、高品質なシステムが稼動し、新商品の販売等、顧客対応力の強化が進展した。

なお、表彰式典は、2013年2月7日(木)に開催される第28回IT戦略総合大会内にて行われる予定です。

<ご参考>

**1. 社団法人企業情報化協会について**

1981年7月に設立。企業の情報化に関する調査研究及び開発を行い、その成果の普及並びに実施を促進することにより、わが国の社会・経済及び産業の健全な発展に寄与することを目的とする。

**2. IT賞について**

日本の産業界並びに行政機関などの業務における生産性向上と効果的マネジメントシステムの整備促進を目的として、ITを活用した経営革新に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業・機関・事業・部門あるいは個人に対して、社団法人企業情報化協会が授与するもの。

1983年3月制定の「OA化・情報化優秀企業・機関・事業所等表彰制度」に則って創設された「OA賞」を前身とし、2001年度より、「IT賞」と名称変更された。

以上